

まちかど

アルバム



「天空への輝き」コンサート

仁風閣

8月29日(土)、国指定の重要文化財・仁風閣で「天空への輝き」と題したコンサートが開催されました。出演したのは、トランペット奏者の田中みつとしさんやソプラノ歌手の宮永あやみさん、鳥取市で活動するインストゥルメンタルバンド「シャローム」など。ライトアップされた仁風閣をバックに「星に願いを」や「アメイジング・グレイス」など全15曲が披露され、会場を埋めつくした約1600人の観客は、うっとりとし聞き入っていました。

夏休みのひとときをお茶席で

気高町中央公民館

8月18日(火)、気高町中央公民館で「子どもお茶会」が開かれ、真っ黒に日焼けした地元の小学生23人が、お茶席を体験しました。浴衣姿の気高中学校茶道部員が、お茶を点てる作法を披露すると、子どもたちは少し緊張した面持ちで、抹茶をいただいていた。その後、児童の要望でお茶点てを体験。茶せんを必死に動かしても、なかなか泡の立たないお茶に、子どもたちは悪戦苦闘していました。



集落自慢の花壇が満開

福部町上野東公民館

福部町の上野集落では、24年前から毎年、上野東公民館敷地内の高さ約5mの斜面に、花を植えています。春の植えから日々の水やりまで、集落の11世帯が総出で育てた色とりどりの花々は、「ゆめ」と「ウエノ」の字をかたどったものです。9月上旬には満開となり、福部の新たな美景スポットとして、通りがかった人の目を楽しませていました。集落のみなさんは、協力して花を咲かせることに喜びを感じているようです。



滝と田舎料理でリフレッシュ

鹿野町法師ヶ滝

8月19日(水)、鹿野町の法師ヶ滝で「鳥取市グリーンツーリズム連絡会」の総会と研修会が行われました。会には、団体や行政などから42人が参加。マイナスイオンツアーや、林の中での総会と意見交換会の後、昼食としてヤマメの塩焼きなどの田舎料理に舌鼓を打ち、交流を深めました。法師ヶ滝は、約1300年の歴史がある三徳山三佛寺の僧侶の修行地で、マイナスイオンツアーは今後も随時、実施されます。



スナッグゴルフで交流



青谷小学校北校舎

8月23日(日)、青谷小学校北校舎グラウンドで、青谷地域の6つのスポーツ少年団の交流会が開催され、児童やその保護者、指導員など88人が、スナッグゴルフを体験しました。この競技は、プラスチック製のクラブとテニスボール大の柔らかいボールを使用するゴルフの一種で、子どもから大人まで一緒に遊べるのが特徴。初めて体験するという子どもたちがほとんどでしたが、すぐに慣れたようで、会場のあちらこちらからボールを打つたびに歓声が上がっていました。

泣いたら勝ち！

賀露神社

9月6日(日)、子どもたちの健やかな成長を願って、賀露神社秋祭り恒例の「赤ちゃん泣き相撲」が行われました。神様に先に声が届くよう、早く泣き出した方が勝ちというのがルールです。1歳前後の赤ちゃん約70人が、そろいの赤い金太郎の腹巻きと豆しぼりのはちまきで勝負。元気な泣き声が、境内いっぱいに広がりました。



白熱！高齢者のスポーツの祭典

佐治町B & G 海洋センター

8月25日(火)、佐治町B&G海洋センターの体育館で「第31回佐治町老人スポーツ大会」が開催され、町内の60歳以上の高齢者が組対抗の綱引きや、パン食い競争などの個人戦で汗を流しました。今年初めて参加したという藤原侃さんは「普段は農作業でしか体を動かさんけど、違う筋肉を使うと気持ちええなあ」と、すがすがしい笑顔で語っていました。

カヌー遊びで川に親しもう

用瀬町運動公園

8月23日(日)、用瀬町運動公園の「カヌーの水辺公園」で、カヌー教室が開催されました。参加した地元の小学生は、鳥取県自然体験塾の講師からカヌーの乗船方法やパドルの使い方を教わった後、早速、川下りに挑戦。初体験のカヌーに、初めは四苦八苦していた子どもたちですが、徐々に慣れてくるとスイスイとカヌーを進めて、千代川の自然を満喫していました。



人気上昇中！「ロケットくれよん」のコンサート

国府町中央公民館

8月30日(日)、国府町中央公民館で、子どもたちに大人気のデュオ「ロケットくれよん」のコンサートが開催されました。たくさんの親子連れが詰めかけた会場で、ロケットくれよんのお兄さんたちが音楽に合わせた手遊びを行うと、子どもも大人も一緒になって、歌ったり踊ったり…。コンサート終了後も、踊りながら帰る子どもたちがいるなど、とても楽しいひとときでした。

